が団結呼びかけ」、「同会議メンバーと地元行政関係者など約50人が出席し、プロジェクトの課題や振興策等について意見交換した。」

在京メンバーでフラワー委員会開催

フラワーロードプロジェクト 村岡清男

今後の活動方針など協議

久しくフラワー委員会を開催していなかったので、去る11月12日（月）18時30分～東京新橋のオンザ・バンド（会場）で在京有志19人が出席して、これからのフラワー活動の取り組み方針や活動体制づくり等について協議しました。

出席者（敬称略）は、雪山渥美、稲村公望、松村久、市村康、宮原たづ子、定久文三、定久律子、諏訪守正、恵茂一、松田健一、牧山二郎、上野大、浅見寛、竹山哲夫、井上洋子、平山典彦、友野誠一郎、村岡清男、村岡しげ子

一、議事のオープニングは、島のフラワーメンバーの一人、利元一郎さん（母間）が作詞（作曲は島の学校の先生）した「花の島・徳之島」（別掲）の演奏披露から始めました。

島のフラワー運動を盛り上げようという利さんの熱い思いが込められた唄でメロディは音頭調で踊りやすい曲となっているので、これから島出身の歌手に歌ってもらうなど、活用策を検討しようということにしました。

二、議題2は、去る10月島訪問の折、市村康さんが撮影した「島の植樹先の映像」をパーワポイントで紹介。宮原たづ子さんの提案で「夢」振のホームページにも取り上げていくことを決めました。

三、議題3は昨年10月15日（月）、伊仙町役場で開催した「第2回徳之島フラワーサミット」の模様について雪山渥美さんから報告。島の花いっぱい運動はまだまだPR不足、やらなければならないことが沢山あるとサミットで提起された課題などについて総括紹介した。

四、議題4は「ふるさと徳之島フラワー基金」口座への支援金振込み状況について定久律子さんから報告。昨年度は稲村公望さんの友人、知人164人から85万2千円の協力があり総額131万7千円の振込みがあった。今年度は10月末現在で64人38万6千円と募金目標額の3分の1強程度の振込みで、これから来年4月末までに関東以外の親戚、友人、知人等にも呼びかけて（1口千円）目標額達成をめざすこととした。

五、議題5は、「今後のフラワー活動の取り組み計画」について松村久さんから島でのフラワーサミットの協議もふまえて、植木の植樹場所の選定確保、記念植樹と公共施設植樹、植木の枯れ防止対策、フラワーロードグループの組織体制等について具体案作りの提案があり、次回総会までに検討していくことを申し合わせた。

六、議題6は、「夢」振フラワーロードプロジェクトの「活動体制について」村岡清男より要綱案の説明を行った。島でも会員メンバーが増えてきたので、役割分担を明確にし、組織的な活動体制を確立する段階にきているとの趣旨説明があり、次期総会までに意見をまとめることにした。

七、議題7は、「全体的な質疑応答、意見の開陳」などを行った。松田健一さんが進行役となり出席メンバー全員から、島のフラワー運動推進、活動のすすめ方などについて発言をして頂き、フラワー委員会を締めくくった。

◎ふるさと徳之島フラワー基金の募金チラシ四千五百枚を、稲美印刷㈲社長稲武彦様（伊仙町馬根出身、東京在住）が無償協力をされました。募金協力の皆さんに加えて、こうしたご支援も大変有難く、心から感謝を申し上げます。　事務局

花の島徳之島

作詞　利元一郎
母間出身

一、咲いた　咲いたヨ
ハイビスカスが
空の青さに　人の情け
気候温暖　住みやすく
花の花の　徳之島
アーア　一度はおいで

二、咲いた　咲いたヨ
蘇鉄の花が
海のあおさ紺碧に
こころばな情熱花
島の娘に　一目ぼれ
花の　花の　徳之島
アーア　貴男もおいで

三、咲いた　咲いたヨ
心の花が
かな島娘の笑顔が
目に浮かぶ
気候温暖　冬知らず
花の花の　徳之島
アーア　一度おいで

四、咲かせてみせヨ
貴方の花も
あふれる想い「夢」振の
しま全島に咲かそう
こころばな情熱花
花の　花の　徳之島